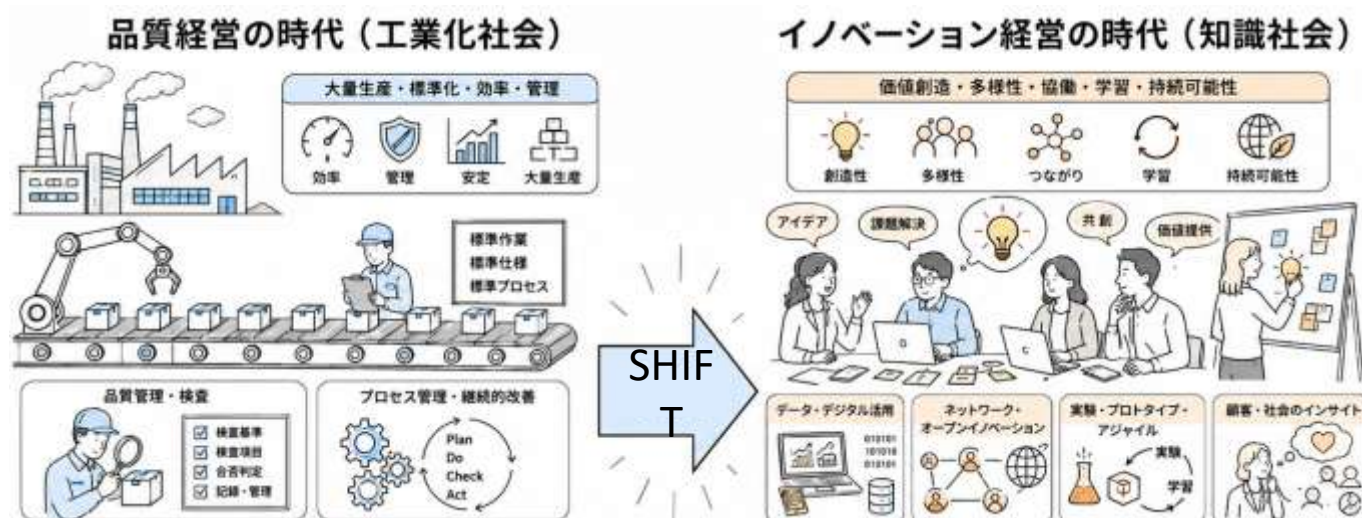


IMSの時代へ

経営システムのシフトなしに勝ち残ることはできない

「イノベーション経営（価値創りを競う）」の時代へ



IMS / ISO 56000シリーズ イノベーションを組織的・体系的に興す



加速する変化 スピード

昨日の成功法則はもう通用しない。
変化を待つのではなく、自ら未来を
創り出す組織の力が不可欠です。



偶然や個人頼みで なく、仕組みで

個人の情熱や才能任せを卒業。組織
として再現性をもって新しい価値を
生み出す体制へ移行します。



世界共通の物差 しで変革を加速

ISO56000シリーズという共通言語
で、社内外の判断のブレや足並みの
乱れをなくし、変革を加速します。

IMSAP プログラム全体像

学ぶ → 現状を知る → 設計する → 実装する。段階的に組織能力を高めます。

Studio

IMSAP スタジオ チーム学習・検討

IMSを学び導入の
道筋を描く

Camp I

現状を把握する 成熟度アセスメント

成熟度・準備度を
可視化

Camp II

IMSのデザイン 戦略策定

意図・スコープ・
戦略を設計

Camp III

IMSの実装 パイロット・実践

プロセスと支援体
制を実装



IMP 能力開発プログラム プロフェッショナルを育成する

イノベーションを企画・推進・運営してリードする
専門家を育成。ISO56000準拠の体系的カリキ
ュラムで、組織変革を牽引する力を養います。



ISO 56001 認証取得支援 対外的な信頼性を獲得する

国際規格ISO56001の認証取得を、ギャップ解析
から文書整備・内部監査まで一貫して伴走支援。
組織の取り組みを社内外に証明します。

IMSを学ぶ・組織を育む

IMSの基礎を学び、組織変革をリードする人材と推進チームを育成



IMS短期集中講義（2日間）

個人・少人数で参加できる入門コース。2日間でIMSの基礎から自社の導入ロードマップまで一気に描きます。

- JIN講師（国際規格策定の当事者）による直接指導で、IMSの狙いと背景、目的を理解する
- IMSの基本的な考え方（8原則）と規格要求事項（箇条4～10）を知る
- 自社導入時の有用性を考え、導入に向けた提案ストーリーとロードマップを描く

期間・形態
2日間 / 個人・少人数

開講日
随時開催
（催行人員5名以上）

参加費（税別）
25万円／名



IMSAP スタジオ（チーム学習・約3ヶ月）

各社チーム（3～5名）で動画学習・対話セッション・自社内議論を重ね、IMS推進の中核チームを組織します。

- ISO56000シリーズに基づき、IMSの要素とあり方を体系的に習得
- 動画学習＋対話セッション（全5回）＋自社内議論の3層構成
- 担当役員の合意獲得を含む、IMS導入・実践への道筋を立てる
- 修了テストで「IMSジュニア・プロフェッショナル」認定

期間・形態
約3ヶ月（計5回）
チーム3～5名

開講日
第14期
2026年12月3日より開講

参加費（税別）
3名 150万～5名 200万円



IMP 能力開発プログラム

Amplify:

イノベーションを企画・推進・運営してリードする中核人材＝IMP（Innovation Management Professional）を育成する実践型プログラム。

- IMS先進国スウェーデン Amplify社のSIMを活用、ISO56000準拠の実践カリキュラム
- 事前学習（オンライン）＋ワークショップ（全4回）。仲間との対話と自社課題への適用を重ねる
- 戦略立案・トップの巻き込み・プロセス設計・文化醸成・評価まで体系的に学ぶ

期間・形態
約3ヶ月（計4回）
担当者・候補者

開講
次期開催時期検討中

参加費（税別）
35万円／名

組織に実装する

現状把握から設計・実装、そして国際認証取得まで、専門家がサポート



IMSAP キャンプⅠ — 現状を把握する

イノベーションマネジメントの準備度・成熟度をアセスメントし、現状を可視化します。

- 危機認識・阻害要因・知識創造プロセス等、変革に踏み出すための「準備度」を把握し、課題とボトルネックを特定
- ISO56002の各条項に照らし、システム（仕組み）がどれだけ回っているかの「成熟度」（到達レベル）を評価

期間・形態
約3ヶ月 / 企業毎

段階
現状把握・ギャップ解析



IMSAP キャンプⅡ — デザインする

経営トップの意志を反映した、自社独自のIMSとイノベーション戦略を設計します。

- イノベーションの意図・スコープ・ビジョン・方針・戦略を策定
- トップ/ステークホルダーインタビュー、シナリオプランニング、イノベーション・ポートフォリオ作成

期間・形態
約3-4ヶ月 / 企業毎

段階
デザイン・構築



IMSAP キャンプⅢ — 実装する

事業化パートナーと連携

イノベーションのプロセスと支援体制をデザインし、自社のIMS活動に着手します。

- 戦略に基づく活動プロセスの構築、教育プログラム整備、JINネットワークを活かした実装展開
- パイロットの選定・実践、初期イノベーション活動のモニタリングで成熟度を高める

期間・形態
約4-6ヶ月 / 企業毎

段階
実装・パイロット



ISO 56001 認証取得支援

国際規格ISO56001の認証取得を一貫支援し、対外的な信頼性を獲得します。

- ギャップ解析 → 改善案立案 → IMS文書化 → 内部監査・模擬審査 → 認証取得まで伴走
- 「認証を目的化しない」方針のもと、実業務に根ざしたIMSの定着を支援

期間・形態
約10ヶ月 / 企業毎

段階
認証取得・継続改善

募集中



IMSAP スタジオ 第14期

2026年12月3日～2027年2月18日

国際規格に基づいたイノベーション経営を チーム参加で学び、実践するためのプログラム



最先端の知を習得

ISO56000シリーズに基づき、IMSの要素とあり方を体系的に習得する



推進チーム構築

各社から複数名で参加し、IMS導入・実践をリードするチームを形成する



IMS導入準備

担当役員の合意獲得を含む、IMS導入・実践に向けた道筋を立てる



コミュニティ参画

IMSプロフェッショナルの一員として、コミュニティに参加する

スケジュールと構成

※本プログラムは、学習効果を確保するため、所定の参加人数を設けております。
※内容・スケジュールは、状況により変更となる場合があります。

- IMSとISO国際規格について、「動画学習 → 対話セッション → 自社内議論」の三段階構成で理解を深めながら、自社で使える実践力を身につけるプログラムです。
- 国内唯一のISO56000審議団体であるJINの講師陣が登壇し、豊富な知識と経験をもとに、IMSの理解を促進します。

1. 動画・個人学習	2. 対話セッション（全5回）	3. 自社内議論
各回10～20分程度の動画で事前学習。都合の良い時間に視聴できます。	複数企業の参加者が集合。JIN専門家、他社の参加者との対話や議論を通じ、規格の理解と自社導入のヒントを得ます。	自社での実践に向けた道筋や現状の課題をチームで議論。
◆IMSの基本 ◆ISO56002概要解説 ◆IMSの原則・IMSコンパス	第1回：2026年12月3日(木) 13:00-17:00 対面 - なぜイノベーションに“マネジメントシステム”が必要か - IMSの全体像を理解する - ISO56001とISO56002の違い	・なぜ自社にIMSが必要か議論 ・説得すべき役員と巻き込む仲間の候補をリスト化
◆組織の状況(4章) ◆リーダーシップ(5章) ◆計画(6章)	第2回：2026年12月18日(金) 15:00-17:30 オンライン - 自社の現状を把握する - リーダーシップの重要性を理解する - 計画策定の重要性を理解する	・組織・リーダーシップ・計画策定に関する課題を議論 ・IMS導入に向けた道筋を議論
◆支援体制(7章)	第3回：2027年1月15日(金) 15:00-17:30 オンライン - 支援体制の重要性を理解する - 経営資源の投入のあり方を考える	・自社の支援体制の課題を議論 ・IMS導入に向けた道筋を議論
◆イノベーション活動(8章)	第4回：2027年2月3日(水) 15:00-17:30 オンライン - イノベーション活動を理解する - そのプロセスのあり方を考える	・自社のイノベーション活動のあり方を議論 ・役員・仲間へのアプローチ開始
◆パフォーマンス評価/改善(9・10章)	第5回：2027年2月18日(木) 15:00-18:00 対面 - 評価と改善を通じたマネジメントシステムの習熟の重要性を理解する - 各社のIMS導入に向けた現状を共有し合う	・修了テスト →所定の条件を満たせば、IMSジュニア・プロフェッショナル認定

価格(税別) 3名：150万円 | 4名：180万円 | 5名：200万円



お問い合わせ・お申し込み

一般社団法人 Japan Innovation Network

〒105-0004 東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル3階 CROSSCOOP内

✉ ims@ji-network.org | [ji-network.org](https://www.ji-network.org)

